

割りばしに国産の間伐材

キンレイ
環境に配慮

キンレイ(大阪市)は、面での配慮から繰り返し奈良県・吉野産ヒノキの間伐材を使った割りばしを和食レストラン「かごの屋」の一部店舗で今月中旬から導入する。環境

組みを訴える。環境
組みを訴える。環境
組みを訴える。環境

イトツリー(東京・港)から購入する。価格は中
国産などの外国産とほぼ
同等という。
まず関東地区の十店舗
で採用し、二〇〇九年五
月以降には関西の五十二
店舗を含めた全店舗での
導入を図る。全店で使用

した場合、年間で約七百
万膳の使用量となる見込
みだ。
間伐材は人工林を育て
るために伐採した木材。
これまでは伐採後も使用
されずに山中に放置され
ていることが多かった。
間伐材の活用も環境対策

の有効な手段になる。
キンレイはイトツリー
を通じて今春から植樹
活動をしてきたが、店舗
でも顧客に対して環境へ
の取り組みをアピールす
る。